

## 第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画 「1日20分読書運動」～心に残る1冊の本との出会い～

社会教育課

### 第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画とは？

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が策定され、「都道府県及び市町村は、それぞれ子ども読書活動推進計画を策定するよう努めること」とされました。国をあげて「子どもの読書活動を推進する」計画が示されました。その後改訂を繰り返し、平成30年4月に出された国の「第四次子供の読書活動推進に関する基本的な計画」を基本として、本県でも同年12月に「第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画」を策定しました。

### 基本の方針について

#### 「1日20分読書」運動 ～心に残る1冊の本との出会い～

子どもが生涯にわたる読書習慣を身に付けるためには、乳幼児期から読書に親しみ、小学生期、中学生期、高校生期へと子ども自身がその成長に応じて読書の楽しさを知ることができるよう、読書環境の整備に社会全体で取り組んでいくことが必要です。また、読書習慣の形成に向けて発達段階に応じた効果的な取組を推進するとともに、友人同士で本を薦め合うなど読書への関心を高める取組を推進し、主体的に本に関わる機会を増やしていくことが大切です。さらに、じっくりと本を読み、「心に残る1冊の本」と出会うことで、読書を楽しむ習慣が形成されていくと考えられます。本県においては、「1日20分読書」運動を通して「心に残る一冊の本」と出会えるよう取り組み、読書活動を推進しています。

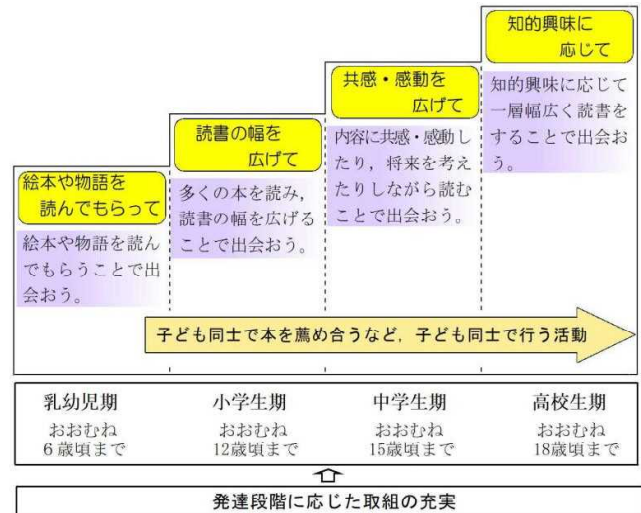
#### 【取組例】

- 乳幼児期：保護者による読み聞かせ 等
- 小学生期：教職員や読書ボランティアによる読み聞かせ、担任や学校司書等によるお薦めの本の紹介 等
- 中学生期：生徒の実態に応じた多様な読書活動や個々に応じた本の紹介 等
- 高校生期：友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組 等

※ 取組例は、一部だけ紹介してあります。

### 【発達段階に応じた心に残る

### 1冊の本との出会い】



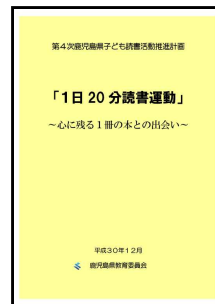
Q：本を読むと、  
どんないいことがあるの？

A：本との出会いは、心を豊かにするだけでなく、夢や人生の指針を与えてくれるきっかけにもなります。



### もっと詳しく知りたいときは？

「鹿児島県第4次子ども読書活動推進計画」又は、「令和2年度版『1日20分読書』運動」で検索してください。



「1日20分読書」運動のリーフレットは、こちらからもご覧になれます。

